

大切に保管してください。

## N8102-599/603 増設メモリボード 取り扱いの手引き

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本増設メモリを本体装置へ取付ける際には本体装置に添付の使用上のご注意に記載されている冒頭の内容をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。

また、増設にあたっては、最寄りの保守サービス会社に依頼することをお勧めします。



### 警告

安全上のご注意を無視する取り扱いを行うと、装置の故障、人体事故、火災・周囲の機器の損傷を引き起こす原因となることがあります。

オプションの取り付け、取り外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外してください。  
故障や感電する恐れがあります。



電源プラグを抜く



感電注意

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



分解禁止



発火注意



感電注意

# NEC

N8102-599/603 増設メモリボード  
取り扱いの手引き



\*856-129899-203-00\*

構成品

項番	品名	数量		備考
		N8102-		
		603	599	
1	4GB DIMM	1	—	Unbuffered Memory Kit
	8GB DIMM	—	1	Registered Memory Kit
2	保証書	1		
3	増設メモリボード取り扱いの手引き	1		本書

取り扱い上の注意事項

本製品を箱から取り出した後は、次の注意事項を必ずお守りください。

- ほこりの多い場所や大気中に硫黄の蒸気が発生する場所及び、水などの液体のかかるおそれのある場所に置かないでください。
- 強い磁気が発生させるものの近くに置かないでください。
- メモリの端子部分に触れないでください。

製品の取り付け／取り外しについて

準備確認事項

- (1) 危険防止及び故障防止のため作業を行なう際には、本体装置の電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
但し、ホットスワップ（活線挿抜）対象製品の取り付け／取り外し時の電源スイッチの OFF および電源プラグのコンセントからの取り外しは除きます。
- (2) 本製品は静電気に弱い電子部品で構成されています。製品の取り付け／取り外しの際は、静電気による製品の故障を防止するため静電気対策用リストストラップなどの装着により静電気を除去してください。  
また、リストストラップを使用する場合は、接地された箇所に接続して使用してください。
- (3) ケーブルの取り扱い  
LANケーブル等のケーブルを接続する場合も床面との摩擦によって静電気が帯電することがあります。  
帯電した状態で入出機器に接続すると機器を破壊することがありますので接続する前には除電キット等を使用して除電することを推奨します。  
注) 静電気除電キットについて  
下記の静電気除電キットについては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。  
品名：LANケーブル除電治具  
型名：SG001 （東京下田工業（株）製）

第三者への譲渡

本製品を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本書を一緒にお渡しください。

# メモリクロック

本機は、DDR L3-1066/1333/1600MHz のメモリクロック周波数をサポートしておりますが、CPU 構成、DIMM 構成により動作するメモリクロック周波数が異なります(取り付けられた DIMM は、すべて同じクロック周波数で動作します)。

N8100-1910Y/1913Y(E5-2407 搭載モデル)の場合

N コード 製品名	メモリクロック周波数
N8102-509 2GB 増設メモリボード(1x2GB/U)	1066MHz
N8102-510 4GB 増設メモリボード(1x4GB/U)	
N8102-603 4GB 増設メモリボード(1x4GB/U)	
N8102-511 8GB 増設メモリボード(1x8GB/R)	
N8102-599 8GB 増設メモリボード(1x8GB/R)	
N8102-512 16GB 増設メモリボード(1x16GB/R)	
N8102-513 32GB 増設メモリボード(1x32GB/R)	800MHz

N8100-1911Y/1914Y(E5-2430L 搭載モデル)の場合

Nコード 製品名		メモリクロック周波数	
	メモリチャネルあたりの枚数	1 枚	2 枚
N8102-509 2GB 増設メモリボード(1x2GB/U)		1333MHz	1066MHz
N8102-510 4GB 増設メモリボード(1x4GB/U)			
N8102-603 4GB 増設メモリボード(1x4GB/U)			
N8102-511 8GB 増設メモリボード(1x8GB/R)		1333MHz	
N8102-599 8GB 増設メモリボード(1x8GB/R)			
N8102-512 16GB 増設メモリボード(1x16GB/R)			
N8102-513 32GB 増設メモリボード(1x32GB/R)		800MHz	

N8100-1912Y/1915Y(E5-2450L 搭載モデル)の場合

Nコード 製品名		メモリクロック周波数			
	Memory Voltage	1.35V 設定時 *1		1.5V 設定時 *1	
	メモリチャンネルあたりの枚数	1 枚	2 枚	1 枚	2 枚
N8102-509 2GB 増設メモリボード(1x2GB/U)		1333MHz	1066MHz	1333MHz	1066MHz
N8102-510 4GB 増設メモリボード(1x4GB/U)					
N8102-603 4GB 増設メモリボード(1x4GB/U)					
N8102-511 8GB 増設メモリボード(1x8GB/R)		1333MHz		1600MHz	
N8102-599 8GB 増設メモリボード(1x8GB/R)					
N8102-512 16GB 増設メモリボード(1x16GB/R)					
N8102-513 32GB 増設メモリボード(1x32GB/R)		800MHz			

\*1 BIOS SETUP より動作電圧を変更できます。

本体装置を再起動後、BIOS SETUP を起動します。

[Advanced]-[Memory Configuration]-[Memory Voltage]で[1.5V/1.35V]が選択可能です。

# DIMM の増設順序



- 1CPU 構成時と 2CPU 構成時で DIMM の増設順序が異なります。
- CPU2 を搭載していない場合、CPU2\_DIMM1～6 は使用できません。

1CPU 構成時は、DIMM スロット番号の小さい順に増設してください。

2CPU 構成時は、各プロセッサの DIMM スロット番号の小さい順に**交互**に増設してください。

DIMM の増設順序は、DIMM の組み合わせにより異なります。下の組み合わせ一覧から混在可能な DIMM で、容量の大きい DIMM からスロット番号の小さい順に増設してください。

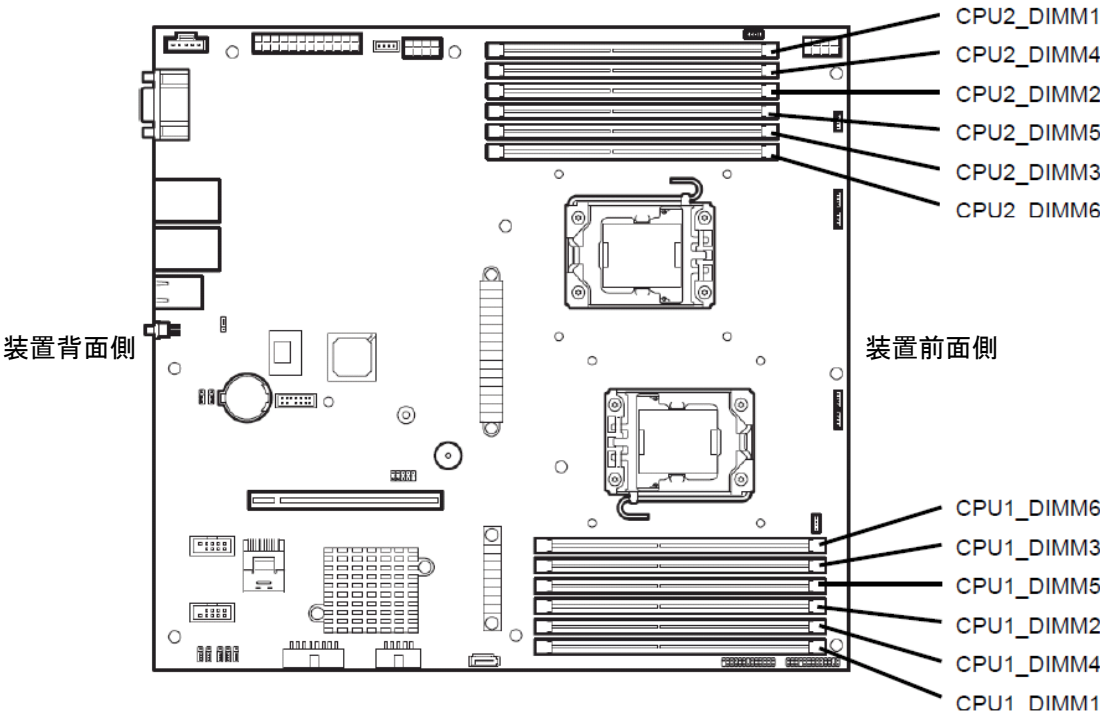
搭載できる DIMM は組み合わせにより混在が出来ません。

次の組み合わせ一覧から混在可能か確認して増設してください。

型番	N8102-						
	509	510	603	511	599	512	513
N8102-509 2GB 増設メモリボード(1x2GB/U)	○	○	○	×	×	×	×
N8102-510 4GB 増設メモリボード(1x4GB/U)	○	○	○	×	×	×	×
N8102-603 4GB 増設メモリボード(1x4GB/U)	○	○	○	×	×	×	×
N8102-511 8GB 増設メモリボード(1x8GB/R)	×	×	×	○	○	○	○
N8102-599 8GB 増設メモリボード(1x8GB/R)	×	×	×	○	○	○	○
N8102-512 16GB 増設メモリボード(1x16GB/R)	×	×	×	○	○	○	○
N8102-513 32GB 増設メモリボード(1x32GB/R)	×	×	×	○	○	○	○

○ : 混在可    × : 混在不可

- 同容量で型番の異なるメモリボード（N8102-510/511）が混在する場合は、以下の優先順序でメモリスロット番号の小さい順に増設してください。  
[4GB 増設メモリ] N8102-510 → N8102-603  
[8GB 増設メモリ] N8102-511 → N8102-599
- 従って、各種メモリの優先順序は以下のようになります。
- N8102-513 →N8102-512 →N8102-511 → N8102-599
- N8102-510 →N8102-603 →N8102-509



## 増設メモリの取り付け

### 1. 準備確認事項

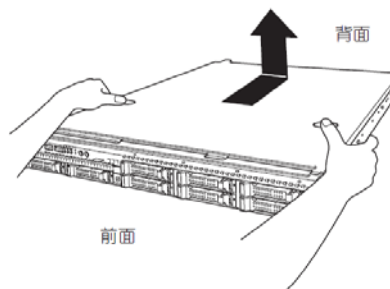
- (1) 危険防止及び故障防止のため、作業を行なう際には本体装置の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 2. 増設手順

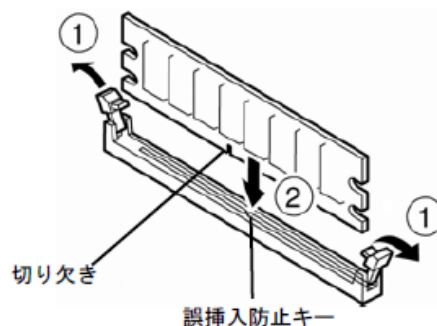
#### (1) 増設メモリの取り付け

本体装置ユーザーズガイド「2章(1.3 取り付け/取り外しの概要)」の手順1～3を参照して準備します。

1. トップカバーを取り外します。



2. DIMM を覆っているダクトカバーを取り外します。
3. マザーボード上のメモリ (DIMM) ソケットの位置を確認します。
4. DIMM スロットの両側にあるレバーを左右に広げ、DIMM をスロットにまっすぐ押し込みます。DIMM が DIMM スロットに差し込まれるとレバーが自動的に閉じます。



- DIMM の向きに注意してください。DIMM の端子には誤挿入を防止するための切り欠きがあります。
- スロットに押し込むときは過度の力を加えないでください。スロットや端子部分を破損するおそれがあります。

5. 同様の手順で残りのメモリボードを実装します。

### 3. 増設後の確認

- (1) 本メモリボードを増設後、本体装置の画面が表示されない場合は、基本で実装されているメモリも含めて、再度すべてのメモリが正しく実装されているか確認してください。
- (2) POSTの画面でエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。
- (3) エラーメッセージが表示されたときは、「メンテナンスガイド」の「3章(1. POST中のエラーメッセージ)」を参照してください。
- (4) BIOSセットアップユーティリティ (SETUP) を起動して、[Advanced] - [Memory Configuration] - [Memory Information]の順でメニューを選択し、増設したDIMMの容量表示が正しいことを確認します。  
(本体装置のユーザズガイド「3章(2. システムBIOSのセットアップ)」を参照してください。)
- (5) [Advanced] - [Memory Configuration] - [Memory Retest]を[Yes]にします。  
変更後、[Save Changes and Exit]で再起動してください。

M E M O